

あか牛と草原



長野良市（ナガノリョウイチ）

牛が守る草原環境

阿蘇の草原には、あか牛を始め、約 10000 頭の牛が放牧されています。牛が草を食べ、踏みつけることで短い草の生える草原が保たれます。放牧は、畜産業という経済活動の一部であるとともに、草原環境を守る大切な営みのひとつでもあるのです。

6月
2007

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

阿蘇の草原再生事業のご紹介 3 牧野組合による野草地環境保全実施計画の作成



環境省では、牧野組合と一緒に「野草地環境保全実施計画」の作成を進めています。自分たちの牧野の野草地面積、過去の利用履歴、牧野に自生している草花を調査し、野草地保全に向けた今後の利用方法や、必要な整備等について考えます。地元の人々に草原の価値を再認識していただく機会になることを期待しています。

後世に伝えていく草原



子供たちに伝える千年の草原

長年に渡り人々に利用されてきた草原ですが、「行ったことがない」「よく知らない」という阿蘇っ子が増えています。阿蘇にしながら、草原を知らないのはもったいないものです。次の世代の人たちに草原の価値や守っていく大切さを伝えることが求められています。

7月
2007

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 海の日	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

